

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2021年度 第5回理事会議事録

日時：2022年4月16日（土）14時00分～16時30分

会場：パルシステム生活協同組合連合会2階第1会議室とZOOM WEB会議のハイブリッド型

出席者：（理事）金澤 剛 小沼 正昭 小國 英夫 佐藤 健二 宮脇 棟次郎
宮本 信（WEB） 松下 啓子（WEB）

（監事）石原 温 沖倉 紅児

オブザーバー参加者：江口 孝一 中島 早紀 ティダー キー 會田 ゼイ（WEB）

Myo Zaw Aung（WEB） Aye Thet Mar（WEB） 清田 隆広（WEB）

大西 祐子（WEB） 島村 宏（WEB） 小糸 孝一（WEB）

橋本 武也（WEB） 余田 正典（WEB） 外口 忠広（WEB）

出口 雅司（WEB） 大塚 禎（WEB）

配布書類：第5回理事会議案書

○招集と定足数

金澤理事長より、4月8日、定款35条1項に基づき、2021年度第5回理事会を招集したこと、又、14時00分現在、理事総数の過半数以上の理事7名全員が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

尚、本理事会は、新型コロナウイルスの解散拡大の防止の観点から、実出席の他、各役員（理事）並びにオブザーバーの職場並びに自宅をつなぐWEB会議システムを用いて実施した。

次に、金澤理事長が議長に就き、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっているのを確認した。その後、議長が開会を宣言し、議事に入った。

○特別報告1「事業団の今、必要な業務は」「人事計画の策定が急がれ始めた」

2「コミュニケーション調査の実施の件」

3「登録支援業務の開催について」

4「ミャンマーからの第5期生の受け入れについて」

・特別報告2、3、4について、以下のような追加報告と要望があった。

- 特別報告2について、小國理事よりこの間の経過と宮脇理事より4月のヒヤリング調査実施に関する報告がなされ、プロジェクトの発足を確認した。
- 特別報告3について、相談業務に係る、情報収集の手続きのルール化や守秘義務の取扱について、予め、明示が必要であるとの意見を頂いた。

- アンダマンエイトより、既に 40 名を超える日本語N4 合格者が誕生し、第 5 期候補生が、5 月の選考面接会の開催を期待を込めて待っている、との報告があった。

○審議事項

第 1 号議案 正社員・賛助社員の入社承認の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第 1 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、下記の入社に、全員異議なく賛成、可決された。

- ◇正社員（団体） 社会福祉法人 立命会（理事長 友名 孝子）
：沖縄県南城市
- ◇正社員（団体） 社会福祉法人 長生会（理事長 潮田 悦男）
：奈良県橿原市
- ◇賛助社員（個人） 余田 正典 ；京都府京都市
- ◇賛助社員（団体） アンダマンエイト（代表者 Than Htike Aung）
：東京事務所 東京都中央区

第 2 号議案 2021 年事業報告、決算報告並びに剰余金処分（案）承認の件

議長は、小沼専務理事より、決算の未払い費用の一部、出向負担金は見込額を計上しており、確定次第、修正することを、理事長に一任を願いたいとしたうえで、議案書に基づき、第 2 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

第 3 号議案 2022 年度事業計画（案）並びに予算（案）決定の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第 3 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

第 4 号議案 役員（理事）改選の件

議長は、小沼専務理事より、提案要旨の一部に誤りがあり、役員候補者（理事 7 名）に修正し、理事に宮脇 棟次郎（重任）を加える訂正をしたうえで、議案書に基づき、第 4 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

第 5 号議案 役員（理事）報酬上限額決定の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第 5 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

第 6 号議案 第 9 回定時社員総会の開催日時及び場所並びに社員総会の目的である事項決定の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第 6 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

○一般報告

議長は、議案書に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明させ、質疑を行っ

た。以下のことを確認し、又、報告、要望等を受けた。

- 正社員（団体）を脱会しても、個人として、事業団の趣旨に賛同し、活動に携われるような、個人参加の働きかけも強めてもらいたい、との要望を頂いた。
- 特定技能に移行した折の一時帰国時等現地の送り出し機関でしかできないリスク対応等の支援業務に係る、事業団、アンダマンエイト、雇用法人の三者による、「確認書」の締結を確認した。
- 日本語オンライン授業の本開講が迫り、8法人23名の受講申込に増えたこと、数値目標を持って、この運営にあたること等と次年度の課題を共有した。
- 日本での仕事内容が、同じ職種であってもミャンマーにある事業や仕事内容とは、基本的に異なるため、来日前と後では仕事のイメージにギャップが生じ、異なるためのケースが多々ある。
アンダマンエイトから、特に、ミャンマーに介護の仕事はなく、このギャップを埋める必要を感じる。この為に、実際の介護の仕事を紹介する日本からの講師の派遣や短期的な研修受け入れなどを協力の要請があり、課題とすることを確認した。
- 特に、オムツ交換、入浴介助など初任者研修内容を教えられる程度の講師の派遣や現地教育においては、体力的に必要な筋力をつける動作訓練指導なども、求められるとの指摘があった。
- 社会福祉法人同和園より、介護留学の取り組みの現状と課題について、報告がなされた。

議長は、その後、議事審議を終了し、16時30分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2022年4月16日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 小沼 正昭

理事 小國 英夫

理事 佐藤 健二

理事 松下 啓子

理事 宮本 信

理事 宮脇 棟次郎

監事 石原 温

監事 沖倉 紅児